

IT・エレクトロニクス業界の魅力と貢献

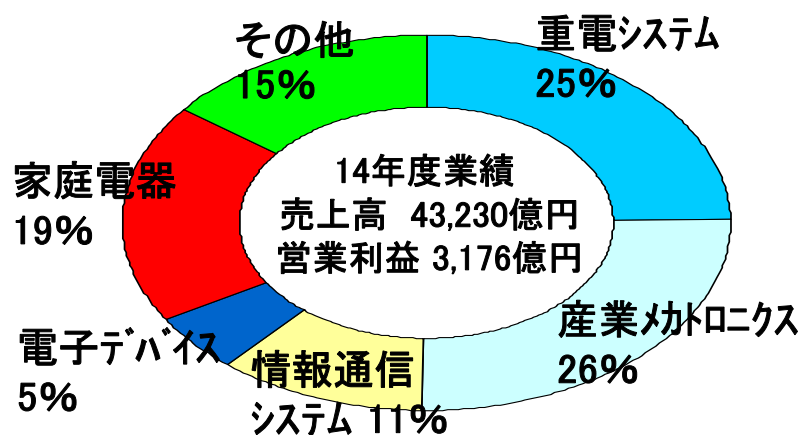
「グローバル環境先進企業を目指す三菱電機の成長戦略」

2015年度10月10日

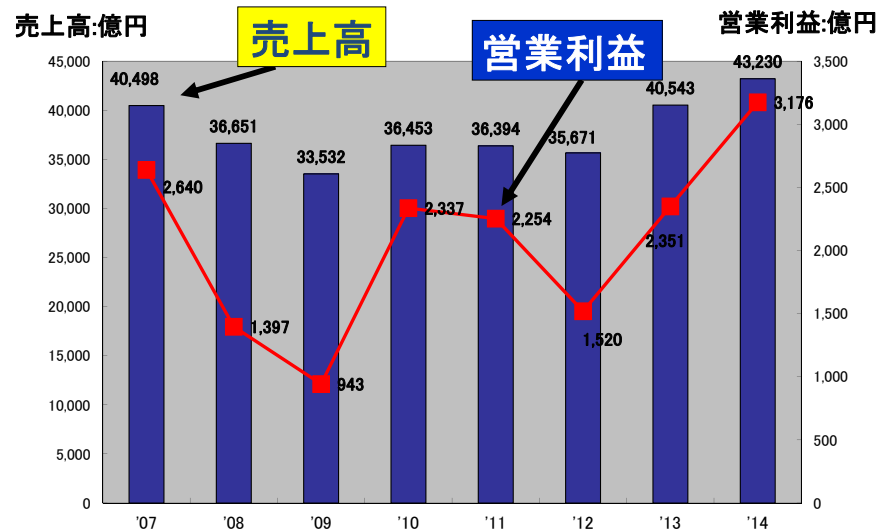
三菱電機株式会社
人材開発センター長
田中 敦

- 1983年 三菱電機に入社、情報電子研究所(現 情報技術総合研究所)配属:担当者~部長
(UNIXワークステーション、ウィンドウシステム、大画面システム、HMIの研究開発に従事)
- 2010年 半導体・デバイス事業本部:主幹技師長
(パワー半導体、高周波半導体、液晶デバイスのソリューションビジネス推進)
- 2012年 情報技術総合研究所:部門長
(マルチメディア技術統括)
- 2014年 人事部人材開発センター長
(三菱電機グループの人材育成)

三菱電機グループ事業概要



連結業績の推移



三菱電機グループの「企業理念」と「環境ビジョン2021」 ～ グローバル環境先進企業を目指して ～

企業理念

三菱電機グループは、技術、サービス、創造力の向上を図り、
活力とゆとりある社会の実現に貢献する

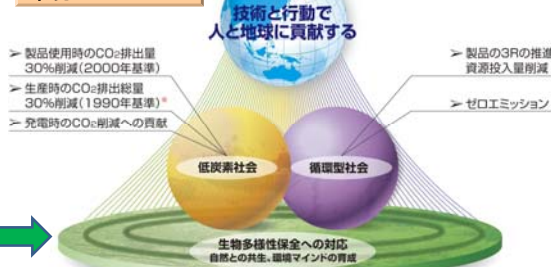
社会への貢献

「安心・安全・快適性」と
「持続可能な社会」の両立

暮らしへの貢献
安心・安全・快適性の提供

環境への貢献
持続可能な社会の実現

環境ビジョン2021

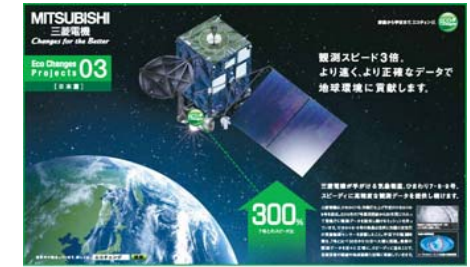


※ 単位：1990年、国内販売会社；2000年、海外販売会社；2005年

©2015 Mitsubishi Electric Corporation



三菱電機は、グローバル環境先進企業へ。



©2015 Mitsubishi Electric Corporation

経営方針

— バランス経営の継続と持続的成長のさらなる追求 —

もう一段高いレベルの成長へ

2020年度までに達成すべき成長目標

- 連結売上高 5兆円以上
- 営業利益率 8%以上

継続的に達成すべき経営目標

- ROE 10%以上
- 借入金比率 15%以下

・借入金比率は、財務規律維持のための指標として堅持
・健全な財務体質を維持しつつ、成長資金の調達余力を確保

変革への挑戦

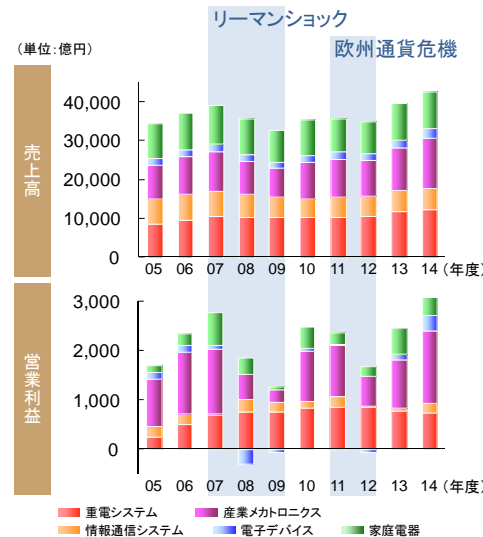
変革に挑戦し続け、次の地平を拓く。

4つの満足

社会への貢献・CSR	よい製品・サービスの提供
社会の満足	顧客の満足
企業価値の向上	働きがいのある職場作り
株主の満足	従業員の満足

©2015 Mitsubishi Electric Corporation

2020年度に向けた取組み — セグメント別連結業績の推移 —



■ 事業特性の違いにより、セグメントごとに景気変動の影響のあらわれ方が異なる

■ 全社成長の実現に向け、セグメントごとに異なる視点で事業競争力の強化を図る

【事業競争力強化の視点】

景気変動の影響を短期的に受けやすい事業

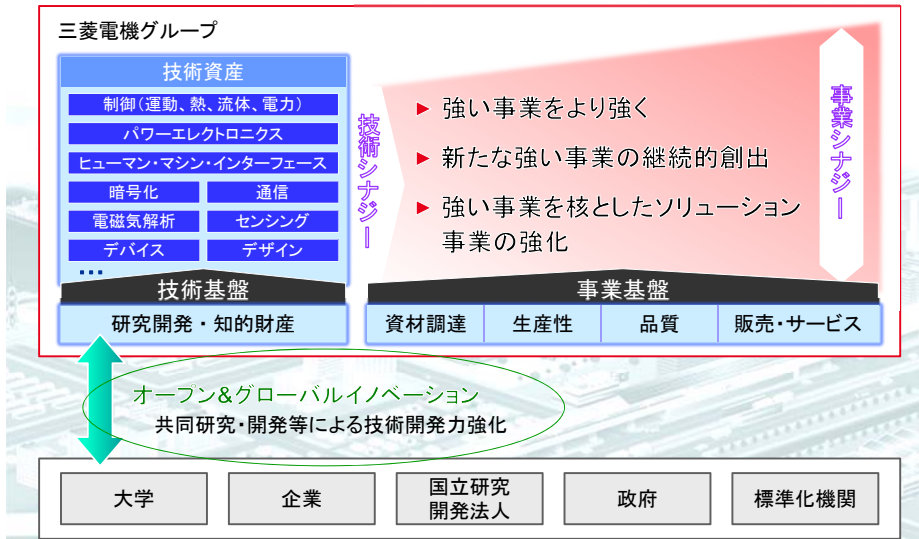
- 好景気時における業績の最大化
- 景気低迷時の影響の極小化

景気変動の影響が相対的に遅れてあらわれる事業

- 事業規模の持続的拡大
- 収益力の強化

©2015 Mitsubishi Electric Corporation

成長戦略の全体像

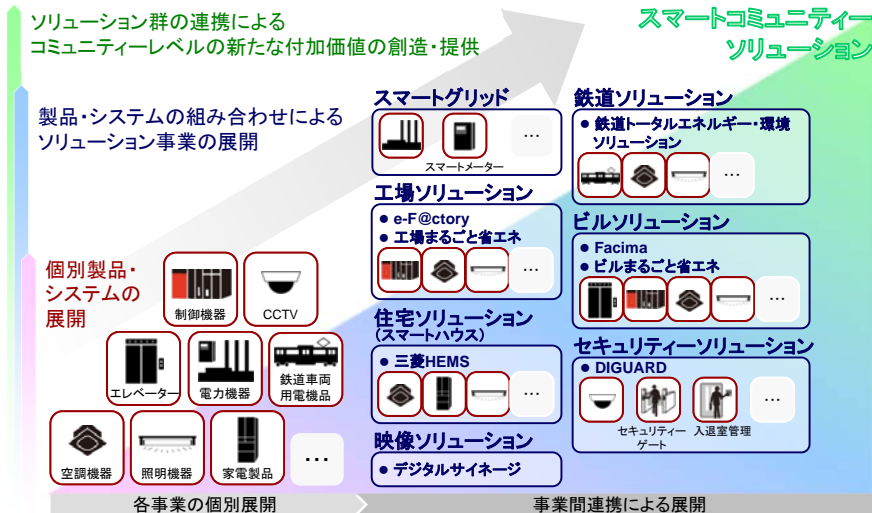


成長戦略:成長を牽引する事業群

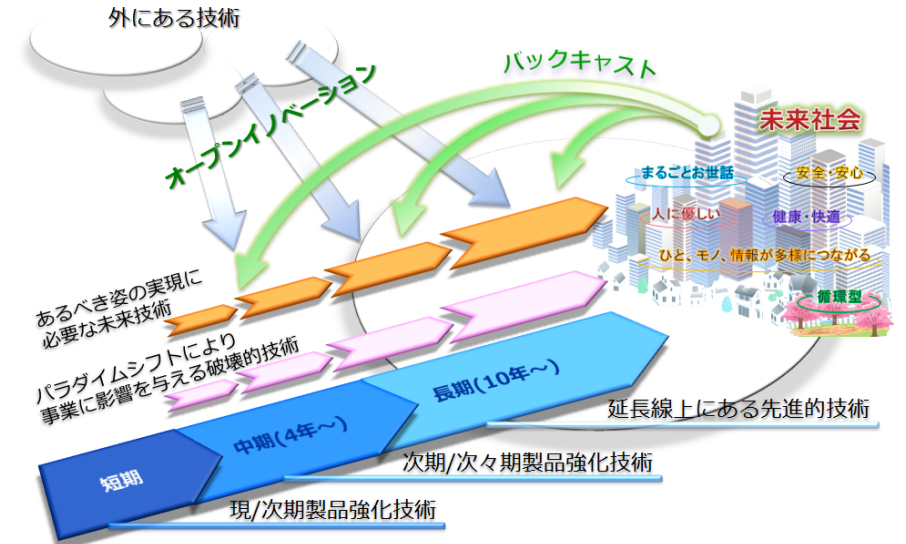


成長戦略:ソリューション事業の展開

— 強い事業を核としたソリューション事業の強化 —



成長戦略:バックキャストによる未来志向の開発推進



● 研究部門(情報技術総合研究所)時代



- 特定の技術分野のエキスパートになる意識
- 自分のアイデアや技術が製品化され、事業に貢献 → 最高に面白い

● 事業部門(半導体・デバイス事業本部)時代

- 半導体・デバイスのソリューションビジネス化、ビジネスモデル構築
- 異文化の難しさを超え、互い尊重できる関係になる → 最高に面白い

● 人事部(人材開発センター)時代

- ソリューションビジネス人材育成の立ち上げ
- 人材開発は会社設計そのものだ!! → 最高に面白い

1. インフラなど社会システムの創造

→ 電力、交通、通信など社会インフラを支えるシステムに関わる

2. 大きなプロジェクトでのものづくり

- 研究開発から製品設計、製造、品管、マーケティング、販売、出荷、保守まで
- 但し組織の中で単なる歯車にならない事。自分の存在価値(技術分野などを持つ)を持ち、自分で考え、議論し、行動し、チームで成し遂げる
- 研究専門的知識・技術及び人間としての懐の深さ(趣味・教養など)

3. 未来の創造

- 新技術、新製品、新分野を開拓し、新しい世界を創造するパイオニア
- 将来のあるべき姿を想定し、やるべきことを実行

4. 社会貢献

- 利益よりも社会貢献を優先する、高い責任感と倫理観

5. グローバル展開

- 舞台は世界。異文化に触れながら仕事ができる

1. 自分の存在意義の再確認

- 自分の人生の意義、価値観、どんな人生を送りたいか、何を人生の目標にするか、そのために何をすべきか、そしてどんな仕事を選ぶか
- 自分の将来のあるべき姿(ビジョン)からバックキャストで今を設計する

2. 目標を持つ

- 直近の目標/遠い先の目標、小さい目標/大きな目標

3. 仕事を選ぶ

- 社会人生活は人生で最も長い期間を占める
- 自分がやるべき仕事を自分で選ぶ

4. 目的を明確に

- 企業活動には目的がある。自己の目的や価値観と合わない不幸

5. グローバルな視点でイノベーションを起こす

- 多様性(異種の知)の活用
- ものづくりから、価値づくり、ことづくりへ

6. Changes for the Better